



照明やAVシステム、セキュリティから遠隔操作まで、実に様々な場面でdigidimは利便性を実現してくれる。たとえば、家の留守を察知されたくない場合、「留守番モード」で照明の点灯・消灯や電動カーテンの開閉、リビングや玄関の照明の時間差でのオンオフなどを自動的に行うことができる。digidimのコンセプトはソリューションの提供なので、住まいに導入する際はインストールを行うプロフェッショナルが必要になる。

☎ solx TEL:03-6438-0488 <http://www.solx.co.jp>



Helvar; Digidim Home Control System



スマートハウスは新境地へ。 digidimが暮らしをかえる

世界中で、ホームコントロールシステムやホームオートメーションの進化が注目されている。本誌でも「スマートハウス」というコンセプトで積極的にアプローチしてきた。今回紹介するのは、いま世界で最も注目を浴びているホームコントロールシステム、Helvar社の「digidim」。満を持して日本に上陸した画期的なソリューションとその魅力に迫る

Presented by **solx**

取材・文 / 編集部

住まいの機能を押し上げる ソリューションがやってきた

DALI、という名をご存じだろうか。従来のアナログ制御から脱却し、デジタル制御を実現した照明制御用世界唯一のデジタル「Digital Addressable Lighting Interface」の総称だ。調光の動作は安定し、急務であるLEDの調光にも対応する優れたデジタル制御として、発祥であるヨーロッパをはじめ世界中で大きな注目を浴びている。

そのDALI制御を採用するHelvar社のホームコントロールシステムが、ここに取り上げるdigidimだ。digidimのすばらしさは、「これができたら」あれができたら」といった暮らしの利便性のことごとくを、決め細やかに実現してしまうことにある。

照明やカーテンのコントロール、セキュリティ連動はもちろんのこと、本誌で度々取り上げてきたAV機器の集中制御との連動や外出先からの室内設備の操作、さらには緊急地震速報と連動した避難補助システムまでを実現可能なのだ。特に照明やカーテンを、ダイレクトにコントロールできるというメリットは大きい(P.89

参照)。蛍光灯や白熱灯の調光はもちろん、LEDも取り入れることが可能なので、省エネにも大いに貢献してくれる。システムの拡充性の高さも魅力だ。一般住宅のコントロールから、巨大なビルオートメーションまで、ルーターの増設によつて対応する。

これまでのホームオートメーションシステムは、アメリカ由来の大掛かりなものが主流だった。家全体を制御するには、制御項目やプログラム項目が多岐にわたるため思いのほか高額になることも多く、日本では住宅規模の問題から本格的な導入事例はあまりない。

だが、digidimなら、家一軒から巨大ビル群まで幅広い規模で、必要に応じたホームオートメーションを実現することが可能なのだ。これからの住まいを考える上で、digidimの提供するソリューションはあまりにも魅力的だ。テクノロジーの進化に伴い、住まいと暮らしはより快適に進化する必然性がある。その担い手のひとつとして、digidimは大きな可能性を秘めているのだ。